

認知症施策推進大綱について（1）

日本認知症本人ワーキンググループ（JDWG） 代表理事 藤田和子

第2. 基本的な施策 > 1. 普及啓発・本人発信支援 > 【基本的考え方】

- ・・・認知症の人が生き生きと活動している姿は、認知症に関する社会の見方を変えるきっかけともなり、また、多くの認知症の人に希望を与えるものである・・・
- ・・・地域で暮らす認知症の本人とともに普及啓発を進め、認知症の本人が自らの言葉で語り、認知症になっても希望を持って前を向いて暮らすことができる姿等を積極的に発信していく。

この「基本的な考え方」が、自治体をはじめ、日本認知症官民協議会を構成するさまざまな団体等で普及が進み、継続し、浸透し、認知症の本人が、自らが暮らす地域のみなさんと「ともに生きる」ことを実現できる社会が広がっていくことを望みます。

認知症施策推進大綱について（2）

日本認知症本人ワーキンググループ（JDWG） 代表理事 藤田和子

第2. 基本的な施策 > 1. 普及啓発・本人発信支援 > （3）認知症の人本人からの発信支援

JDWGとして、「認知症とともに生きる希望宣言」の普及
認知症本人大使、キャラバン・メイト大使（仮称）の創設と全都道府県への設置推進支援

認知症とともに生きる希望宣言



一足先に認知症になった私たちからすべての人たちへ

- 1 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
- 2 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
- 3 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
- 4 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。
- 5 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを、一緒につくっていきます。